



全国自転車議員ネットワーク リレー寄稿 No.7

ふるさとを自転車の聖地に 俺たちがやらなくて誰がやる!!

文

喜多方市議会議員 江花 圭司(えばな けいじ)
公式ウェブサイト: <http://ebanakeiji.velostyle.net>

本ページの担当事務局: 特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階
TEL 080-3918-2932 URL <http://www.cyclists.jp/>



このまちならきっとイケる!!

Uターンで地元に戻った平成12年、進学でふるさとを離れる前と同じ風景が残っていました。大人になり社会に出た幼馴染と酒を酌み交わしながら、地元のことを考えていました。大学時代、東京世田谷赤堤に住んでいた私は、東京で学んだ経験をふるさとでどう活かそうか考えていましたが、地元に戻った瞬間、同じようにふるさとを守るために熱くたくましい大人へ成長している仲間を見て、ここのみならず何でもできると確信しました。

縁あって、大学の卒業間際に知り合ったのが岩城光英元法務大臣です。国会事務所でインターンシップを経験し、卒業と同時に地元事務所を手伝うこととなり、議員を支えることとなりましたが、岩城議員は言わずと知れたトライアスロンの自転車議員。週末の地元公務はトライアスロンのような移動と多忙な業務。自然と私自身も仕事におけるトライアスリートのような臨機応変な対応と知識が身につけてきました。事務所は一年で退所したものの、三年間、会津大学の一期生が起業したコンピュータ関連のベンチャー企業で働きました。四年目に差し掛かろうという時に、岩城議員から早朝に一本の電話をいただいたことが私の大き

な転機となりました。「ベロタクシーを知っているか。東京に来てみないか」と。突然の質問に「はい」と返事したことが、今の私が喜多方で議員をやっていることにも大きく影響しています。

ベロタクシーとは自転車のタクシーのことで、平成14年(2002年)に京都で運行し始め、現在22都市で運行しています。喜多方では平成16年喜多方発21世紀シアターにて3台でイベント運行を行い、平成17年4月に本格運行を始め、現在12年目となりました。喜多方は蔵のまち、足元資源を最大限活用し、多くの市民共通の宝として磨き高め、ふるさとに誇りを持ってもらいたい一心で、毎日ベロタクシーを漕

いできました。そこで確立されたライフワークが、市内外の方々から多くの意見を聞き、ふるさとを守っていくまちづくりに活せるよう事業立案、実践するというサイクルでした。毎日、まちなかを走っている。地域にはあつという間に溶け込むことができ、日々の運行で地域に足りないところを、まちづくりに盛り込みながら提案し、実施した結果、マスコミや雑誌、テレビ番組などに取り上げられ、会津ディステーションキャンペーン効果も手伝って、喜多方市の観光客入込数は、平成22年約189万人になりました。しかし、翌年震災と原発事故の風評で平成23年には約158万人まで下がってしまったのです。



喜多方市ベロタクシー。自転車でのまち興し、今に繋がる活動の「原点」



全国自転車議員ネットワーク リレー寄稿 No.8

ふるさとを自転車の聖地に 俺たちがやらなくて誰がやる!! (後編)

文

喜多方市議会議員 江花 圭司(えばな けいじ)
公式ウェブサイト: <http://ebanakeiji.velostyle.net>

本ページの担当事務局: 特定非営利活動法人 自転車活用推進研究会 事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-3-1 自転車総合ビル4階
TEL 080-3918-2932 URL <http://www.cyclists.jp/>



日帰り観光客の 滞在時間を伸ばすために

さて、平成26年の観光客入込数は原発事故から3年経っても事故前の1割減の約169万人で推移し、喜多方市の基幹産業ともいべき観光産業が未だ打撃を受ける中、具体的な調査で判明した「市内の日帰り観光客一人当たりの平均滞在時間は約4時間で、隣の会津若松市より1時間短い」という事実に対し、「サイクリシティ喜多方協議会」が実施したある取り組みが、大きな成果を上げることになった……というところまで、前回お話しさせていただきました。

では、今回はその具体的な取り組みについて触れさせていただきます。

その取り組みとは、サイクリハンガーの設置です。ヒルクライムチャレンジシリーズで「サイクリストへのおもてなし事業」で製作したサイクリハンガー 60基を、平成27年7月から、

旅館や飲食店など市内60ヵ所に設置したのです。そうしたところ、漆器店と喫茶店を営むお店では、1ヵ月で来店客が40人増え「こんなに効果があるとは驚き。もっと増えて欲しい」と期待の声もいただき、近年の自転車ブームに乗り、中心市街地に偏りがちだった観光客を分散させ、地域全体の活性化につながる結果となりました。

その後、市内や周辺を巡るサイクリングコースを紹介する「喜多方サイクリングマップ」を作り、初級者は蔵など市中心部を巡る4～8km、中級者は市全域を走る16～37km、上級者は郊外の高原などを走破する48～58kmと、難易度別の計9コースを設定。各拠点にあるスタンプを集めると特産品が当たるキャンペーンなど、喜多方の観光に新たなアイテムが仲間入りしたのです。

秋には、喜多方ふれあい通り秋の歩行者天国イベント(約900m)の一環で、300mの往復専用レーンで

の新製品のロードバイクや、マウンテンバイク、子ども用など約20台の自転車試乗会キタカタサイクルフェスタ2015が開催され、それらの機運の高まりから「人気急上昇の自転車ツアー・秋の喜多方を巡る旅」で、喜多方ポダリングルートが県内のテレビ番組で特集されました。

平成28年4月には、予約者数と宿泊数を基に算出される「自転車だからこそ発見できる穴場スポットや絶景など、普通の旅行では味わえない魅力満載の”自転車旅”。爽やかに風を切って自転車で旅をしよう! 自転車旅のスズメ! サイクリストに人気のサイクリング旅行先ランキング」で、会津喜多方エリアが東北トップに。全国では6位ではありますが着実に来訪者が増えています。その要因としては、福島県の会津地方を南北に流れる大川沿いを走り、会津若松市から喜多方市に至る約49kmの自転車道「大川喜多方サイクリング



「サイクリストへのおもてなし事業」で製作したサイクリハンガーが好評を博し、観光客がいろいろな場所を訪れてくれるようになった



市内や周辺を巡るサイクリングコースを紹介する「喜多方サイクリングマップ」。スタンプラリーなども企画



ツール・ド・フランスを思わせるような絶景の中でサイクリングを楽しめる



Kitakata Cycle Festival. サイクリストの人気スポットとしてメディアに取り上げられるようになった



Before

サイクリストが走りやすいよう、早朝に草刈りをする「草さサイズ」を実践



After

ロード」を有しているエリアだからこそです。その周辺は全国的な観光地になっていて、名所、旧跡が数多く、会津の城下町から磐梯山の美しい姿を右手に見ながら、喜多方ラーメンを食し、夏場は軽いヒルクライムでツール・ド・フランスを思わせる三ノ倉高原のひまわり畑を快走できます。その後は、熱塩温泉の塩泉で疲れを癒やすことができ、帰りは景色を楽しみつつきれいに整備された道を進むことができることにあります。

平成28年6月6日には、地域金融機関の支援を受け、スポーツ自転車で巡るまちづくり事業において、宿泊客限定でのスポーツレンタサイクルを導入する運びとなりました。

草ササイズで心も体もリフレッシュ

毎週火曜日は、サイクルシティ喜多方協議会「朝活の日」『僕らの道を守る！ 綺麗な道を自転車で！！』。これは、風光明媚で魅力的なエリアを縦貫している「大川喜多方サイクリングロード」の草木が繁茂して、2時間程度でできる区間を毎週草刈り＝「草さサイズ」してきました。

しかし、現状のままでは、追いつかず、この魅力的なサイクリングロードが埋もれてしまう危機感がありました。喜多方市民に愛され、多くの観光客の皆さんに日々、利活用してもらえるサイクリングロードを

目指し平成28年9月23日「うつくしまの道・サポート制度」合意調印式を行い、今後は、県・市と共にサイクリングロードの美化活動に取り組んでいけるようになりました。

平成28年10月3日には「福島県サイクルスポーツ喜多方大会」を誘致でき、秋の行楽シーズンを迎え、草ササイズは継続中です。作業後は、一汗かいた後の喜多方文化「朝ラー（朝ラーメン）」で英気を養い、各自通常の仕事をするのが定番となっております。

このように、ふるさとの資源を守り、後世に勇気と誇り残すため、「自転車の聖地」にするという志のもと同志が団結して活動しています。PP

喜多方市では、サイクリングサイトの運用も開始されましたので、喜多方で自転車周遊する際には、是非ご利用ください。
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/cycling/>
 サイクルシティ喜多方協議会のfacebookページを御覧ください。
<https://www.facebook.com/cyclecitykitakata/>